

電波時計 取扱説明書
(置時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造 発売元 **リズム時計工業株式会社**〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのお客様相談室が受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4RY000

(フリーダイヤル)
お客様相談室 **0120-557-005**

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y1706)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

ⓘ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
禁止 ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。
●電池を火の中に入れない。

⊘ 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

ⓘ 電池の⊕⊖を正しく入れる
必ず守る 液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

⊘ 強い振動や衝撃を与えない
禁止 故障や破損の原因になります。

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
禁止 さびや故障の原因になります。

⊘ ぬれた手でさわらない
禁止 さびや故障の原因になります。

⊘ 分解や改造をしない
分解禁止 けがや故障の原因になります。

⊘ 下記のような場所では使わない
禁止 性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 火気のそば。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と本体を分別して廃棄してください。

静電気の影響について

静電気により正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押ししてください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

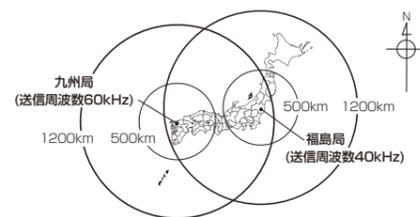
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

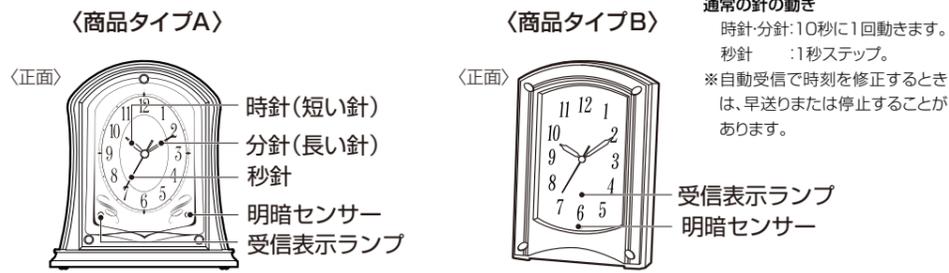
電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

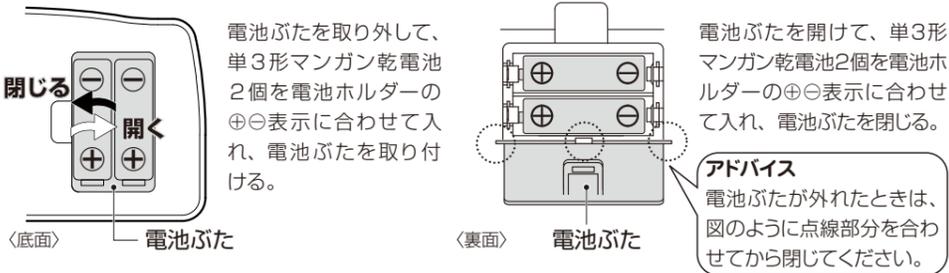


図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



通常の針の動き
時針・分針: 10秒に1回動きます。
秒針 : 1秒ステップ。
※自動受信で時刻を修正するときは、早送りまたは停止することがあります。

〈電池の入れ方〉①



〈裏面操作部〉②



明暗センサーのはたらき.....暗くなると止まる秒針

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置で停止し、受信表示ランプが消灯します。昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

Ⓐ 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎや取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する
屋外などで電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

■手動での時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

⑤ 電波受信機能のON/OFF操作 参照。

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針・秒針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押して、すぐに離した場合は1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。

秒針の動きについて

時刻合わせボタン押し続けたときは、その場で停止するか、12時位置に早送り移動してから停止します。

秒は、時刻合わせボタンを離すと"0秒"に設定され、秒針が動き出します。

時刻合わせボタンを離れたときの秒針位置によっては、数秒間停止してから動き出します。

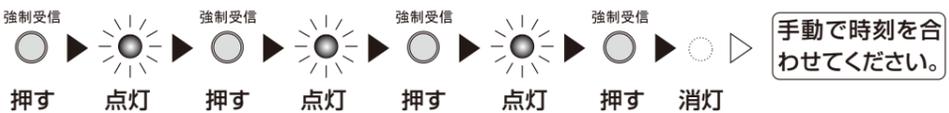
Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（開始するには）

出荷するときの設定は、ONになっています。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

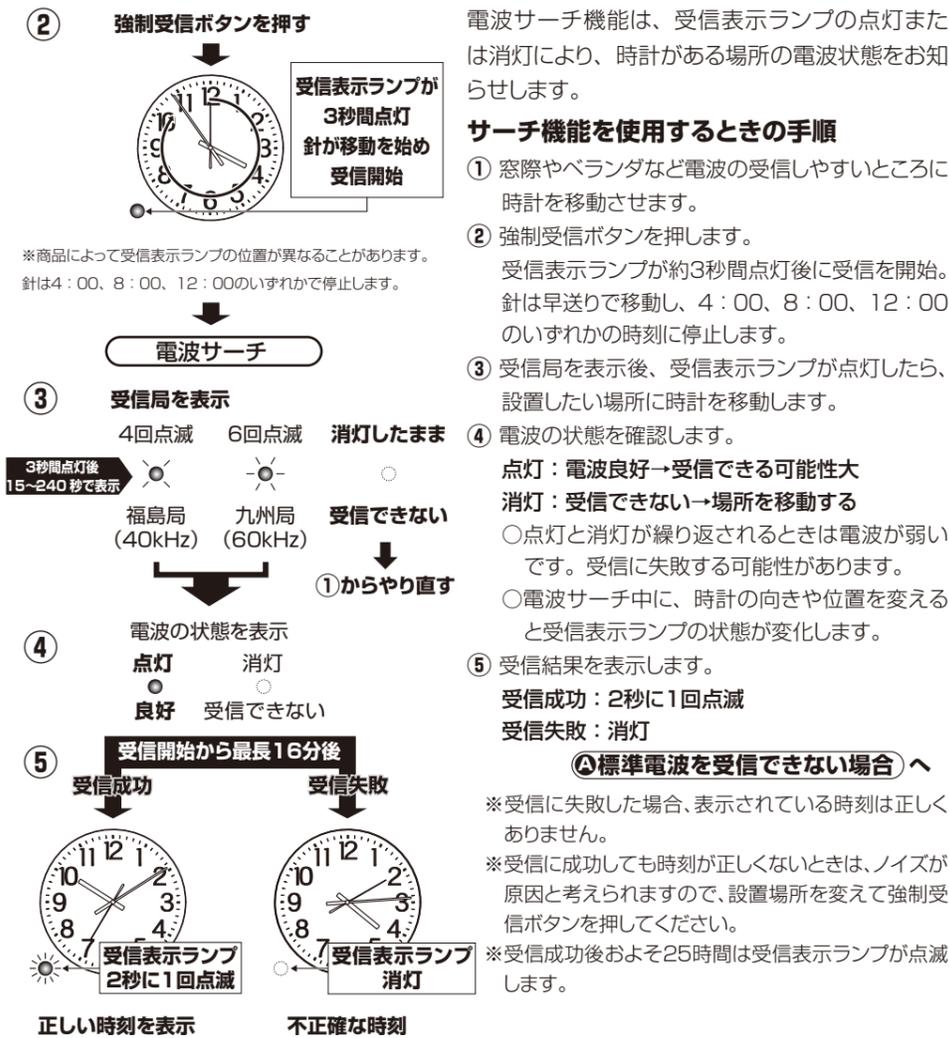
※電池を取り出しても長い時間設定を保持してしまいますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記ボタン操作をしてください。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、Ⓐ 標準電波を受信できない場合 の「手動での時刻合わせ」を参照してください。

- 窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
- ① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる 〈電池の入れ方〉参照
電池の⊕⊖を逆にすると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
- ② 強制受信ボタンを押す 〈標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方〉参照
受信表示ランプが3秒間点灯し、受信を開始します。
また、針が移動を開始して、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に停止します。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
- ③ 16分経過したら受信結果を確認する
受信表示ランプが2秒に1回点滅していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。
消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探るか、Ⓐ 標準電波を受信できない場合 を参照してください。

標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方



設置について

時計の転倒や落下による破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところでご使用ください。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。このような状態になったときには、すべての電池を交換してください。

電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- 注意**
- 電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。
- 時計が止まったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 動いていても1年に1回定期的に交換する。
 - 電池を交換するときは、必ずすべての電池を新しい電池に交換する。
 - 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
 - 電池の⊕⊖を逆に入れない。



おもな製品仕様

常温での時間精度	受信成功時の表示精度(受信成功直後)	秒針: ±1秒	時針/分針: 目盛りに対して±3度
	受信しないとき	平均月差 ±20秒	(常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲		-10℃~+50℃	
使用電池		単3形マンガン乾電池	JIS規格 R6P 2個
電池寿命		約1年間	(標準電波の受信に成功して、明暗センサーにより日に7時間秒針が停止)
電池の交換時期お知らせ機能		常時秒針が12時位置に停止	
電波時計機能		標準電波を受信して表示時刻を修正	
受信局自動選択		福島局/九州局自動選択	受信表示ランプによる受信局表示
電波サーチ機能		受信表示ランプで電波の状態を表示	
自動受信		最少1回/日、最多6回/日	受信状態により受信回数は変化します
		受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時
		各時間帯の16分20秒	
受信機能ON/OFF切替		ボタン操作で切り替え可能	
暗所秒針停止機能		明暗センサーと連動して、暗所での秒針停止および受信表示ランプ消灯	

●単3形アルカリ乾電池を使用することができますが、マンガン乾電池と混ぜて使用しないでください。
●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 お試し用電池 2個 保証書 1枚 取扱説明書 本書